

多くの人の命を守るがん検診 あなたも検診を受けに行こう！

◆がん検診を毎年受診していますか？

皆さんご存知かと思いますが、現在の日本人の死亡原因の第1位は悪性新生物（がん）で、約3人に1人はがんで亡くなり、2人に1人はがんにかかっているという現状から、がんは最大の国民病といわれています。

恐ろしいイメージの強いがんですが、今では早期発見で高い治療効果を得られるようになってきました。早期発見のためには、がん検診を受診していただくことが重要です。国の掲げる受診率の目標は50％ですが、実際は20～30％程度とまだまだ低い現状です（部位

別がん検診受診率…『2010年国立がん研究センターがん対策情報センター統計』より）。

皆さんは、毎年がん検診を受診していますか？

◆がん検診はどうして必要？

がんと言ってしまうと、さまざまな場所に発生し、男性・女性で発生しやすい部位に違いがあります。

●男性に多いがん

【死亡数の多いがん】

1位：肺 2位：胃 3位：大腸

4位：肝臓 5位：膵臓（ひぞう）

【罹患（りかん）数の多いがん】

1位：胃 2位：肺 3位：大腸

4位：前立腺 5位：肝臓

●女性に多いがん

【死亡数の多いがん】

1位：大腸 2位：肺 3位：胃

4位：膵臓（ひぞう） 5位：乳房

【罹患数の多いがん】

1位：乳房 2位：大腸 3位：胃

4位：肺 5位：子宮

がん検診の目的は、早期発見し適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることです。

がん検診も、完璧な検査ではありません。一定の大きさになるまで発見できなかったり、形や場所によつては見つかりにくかったりすることもあります。

受診することで全てのがんによる死亡をなくすことはできませんが、より多くの人の命を守ることができます。実際、町の検診で早期がんが見つかり、治療して元気に過ごしている、というお話を伺うこともあります。何らかの症状によつて病院を受

診した際には、進行がんである場合が多く、治療が困難なこともあります。何も症状がない、健康なときこそ検診を受けましょう。

◆今月のがん検診のお知らせ

●検診期間

11月24日（日）～28日（木）

●対象者

40歳以上の全ての住民（ただし、子宮頸（けい）がん検診は20歳以上・乳がん検診は30歳以上の女性、前立腺がん検診は50歳以上の男性）

●検診場所

町総合保健福祉センター

●その他

・受けた検診だけを選んで受けていただけません。
・特定の年齢の人には大腸がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診（マンモグラフィ検査）の無料クーポン券を配布します。クーポン券が手元に届いた人は、当日忘れずにご準備ください。

※「子宮頸がん」は、近年20～30歳代の女性に急激に増加しています。「まだ若いから大丈夫」と安心せず、定期的な検診受診が必要です。

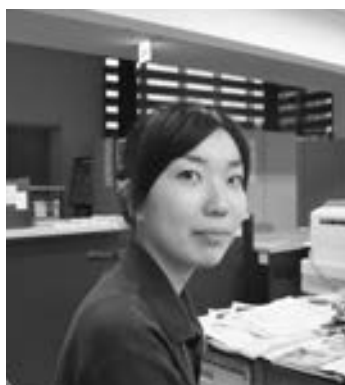
・検診の申し込みをお忘れの人も、早めに連絡をいただくと受診できます。町総合保健福祉センター「鮎緑（あゆみ）」までお申し込みください。

あゆみだより

がん

の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診断などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
高倉 美保 保健師

日本人の死亡原因の第1位であるがんは、最大の国民病といわれています。あなたの大切な命を守るためには、がん検診を受診し、早期発見することが重要です。「鮎緑（あゆみ）」で行われる今月のがん検診をぜひ受診してください。